

INTERVIEW

～1年生職員インタビュー～



令和6年度入省の1年生職員から話を聞いてみました。

■入局を決めた理由は何ですか？

二井矢：職業選択にあたり、社会的な課題を解決するために、法制度という根本にアプローチしたいと考え、国家公務員を志望しました。また、財務局総合職は、地方財務局の業務を経験することで、本省庁において、地方の視点を踏まえた政策立案に携われるため、国と地方の双方に貢献できる点に魅力を感じました。さらに、官庁訪問を通じ、財務

局総合職の職員の方々の温かい人柄に惹かれたことも、入局を決めた大きな要因です。

稲原：財務局総合職を志望した理由は、地域の発展に貢献できる点に魅力を感じたからです。また、財務局だけでなく、財務省本省や金融庁、海外など多様な場所で働く機会があるという点にも魅力を感じました。さらに、官庁訪問でお会いした職員の方々の温かく協力的な雰囲気にも惹かれました。

■現在の業務内容や職場の雰囲気について教えてください。

本村：理財局国有財産企画課は、国有財産行政の取りまとめ担当として、関連課室と様々な調整を行っています。関連課室の数が多いため調整業務は多岐にわたりますが、1年目から国有財産行政全般に関わることができ、多くの知見が得られるため、非常にやりがいを感じています。また、長年国有各課室に配属されている方が多いため、その知識量に圧倒されることが多いですが、課内のコミュニケーションが活発で、丁寧に指導して下さる方ばかりなので、とても充実した日々を送ることができています。

大道：大臣官房総合政策課は、他省庁からの連絡や依頼を財務省内の担当部局に伝えたり、財務省内の意見を他省庁に繋いだりするなど、「財務省の窓口」としての役割をもっています。また、経済財政諮問会議や新しい資本主義実現会議、新しい地方経済・生活環境創生本部といった様々な会議における財務省内のとりまとめなど、幅広い分野を担っており、政府が重点をおく政策に関わる業務が多いです。

■これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと、また、苦労したことがあれば教えてください。

桑畑：私の所属する為替市場課は、為替相場の安定をミッションとし、様々な報道や市場関係者からのヒアリングなどを通して、為替相場の動向を分析・モニタリングしています。為替相場は様々な要因で変動しますが、過度な変動があれば家計や企業に悪影響を与えうるため、通貨当局として適切な対応が求められます。専門用語の理解や刻一刻と変化する国内外の経済・政治状況の把握に大変さを感じることもありますが、そのプロセスに携わることができる点にやりがいを感じています。

井澤：私の部署では官民ファンドについて扱っているのですが、各官民ファンドの政策目的や地域活性化への貢献度、収益性の状況という点を検証するため、非常に幅広い観点から官民ファンドについて分析をすることができ、大変面白い業務であると感じています。実際、近年は各地方に点在する一部の財務局において、官民ファンドに関する合同説明会を行う業務もあり、地域との根強い関係を構築するための足掛かりにもなっていると感じられます。

■目指すべき将来像について教えてください。

信田：現在所属する国際機構課では、国際交渉の場において、国際的な取り決めがなされる過程を間近に見ることができます。一見地方とは関係ないように思えますが、今や地域の企業や金融機関に対して適用されるルールも、国際的な取り決めに基づいていることが少なくありません。今後霞が関や地方において多様な経験を積んでいく中でも、こうした相互のつながりを意識しながら、財務局総合職ならではの視点で、効果的な政策の企画立案・執行に貢献したいです。

高田：自分の取り組む業務の先にいる人たちの顔を思い浮かべられる行政官になるのが目標です。政策立案の背景には何かしら困っている人たちがいます。霞が関、地方など自分が今いる場所に関係なくそういった人々を常に意識できる行政官こそ国の課題解決に貢献できると考えます。係員として政策対象者を意識することはあまり多くありませんが、日々の業務で関わる周囲の人たちや、関係団体の方々の視点に立って行動することで、自分の目標に近づけるよう職務に励んでいます。

■最後に、これから国家公務員、財務局総合職を目指す学生の方へのメッセージをお願いします。

大森：就職活動では、自分の価値観と組織の理念が一致するかを見極めることが重要だと思います。私は、地域課題の解決に貢献し、その経験を霞が関での政策立案に活かすという財務局総合職の役割に強く共感しています。皆さんにも、パンフレットや説明会を通じて、数年後、さらにその先の将来を具体的に想像し、ここで働きたいと思える先を見つけてほしいと願っています。その結果として財務局総合職を選んでいただければ光栄です。一緒に働ける日を楽しみにしています。

木村：このパンフレットをご覧になっているということは国家公務員、そして、財務局総合職に興味を抱かれていることと思います。（パンフレットを手にとってくれてありがとう）財務局総合職は国家公務員でありながら、地方に対してもしっかりとアプローチができる点が最大の魅力かと思います。就職活動は大変かと思いますが、残りの学生時代を楽しみつつ、精一杯頑張ってください！応援しています！！

